

# ひろさき 平成26年12月発行 第37号 市議会だより

9月定例会・議案など	2
委員会活動報告	2
9月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議場外での議会活動	8

平成26年7月12日から10月20日までの出来事を掲載しました。

昭和50年代の弘前駅前通り  
～『ひろさきひとまち百景』から～



このイラストは、制作者である  
津軽ひろさきマーチング委員会の承諾のもとに、使用しています。

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### 平成25年度決算審査

9月定例会「予算決算特別委員会」での前年度の決算審査について、審査の効率化を図るため、3月定例会での当初予算審査と同様の取り組みを実施しました。（2ページに関連記事）

取り組みの主な内容

- 持ち時間制を導入  
（委員1人あたり30分、時間は会派で調整可能）
- 一般質問との重複質疑を認める
- 原則、通告制とするが、無通告の質疑も認める

### 要望活動・災害現地調査等の実施

市の抱える諸課題に対応するための中央省庁などへの要望活動、降ひょうによる農作物被害についての現地調査とその後の対応など、委員会を中心とした議会活動を実施しました。

（8ページに関連記事）

### 青森県市議会議員研修会



鳥巢研二氏による講演

日時 10月8日(水)  
場所 津軽伝承工芸館（黒石市）

演題 地域6次産業化へ向けて  
～地域の雇用を創造するために～

講師 株式会社キースタッフ

代表取締役 とす けんじ 鳥巢 研二 氏

弘前市参加議員：20名

主催 青森県市議会議長会

# 平成26年第3回定例会

## 市長提出議案 33件

### 9月補正後の平成26年度予算

一般会計 811億6507万1千円  
 (9月補正額 12億5688万4千円)  
 特別会計 434億6658万7千円  
 (9月補正額 3660万6千円)

○平成26年度弘前市一般会計補正予算(第6号) 補正額 10億9324万4千円  
 運動公園防災拠点化事業、市民の保健や福祉事業に充てる地域福祉基金積立金の追加、桜守制服プロジェクト、コンパクトシティの推進に向けた立地適正化計画策定事業に係る経費の計上などが主な内容です。

○平成26年度弘前市一般会計補正予算(第7号) 補正額 5890万円  
 8月20日から23日、30日に発生した豪雨により被災した農地、農業用施設及び土木施設の災害復旧に係る経費及び9月12日の降ひょうにより被災した農業経営への支援に係る経費を計上したものです。

## 平成25年度決算審査

収入・支出が適法かつ正当に行われたかについて、4日間の決算審査が行われました。

### 一般会計 決算額

歳入額 851億6388万1032円  
 歳出額 836億3353万 13円  
 繰越額 15億3035万1019円



平成25年度で終了した弘前マルシェ事業

## 質疑通告の内容(抜粋)

### 総務費 9名、18項目

弘前シティプロモーション推進事業、市民参加型まちづくり1%システム、職員地域活動参加促進事業

### 民生費 9名、18項目

民生委員・児童委員活動費、敬老大会事業費補助金

### 衛生費 9名、18項目

健幸ひろさきマイレージ制度、予防接種事業、健康診査事業、ごみ集積ボックス、カラス駆除

### 農林水産業費 11名、23項目

弘前マルシェ事業負担金、農作業支援雇用対策事業費補助金(スマイルアップ・モデル事業)、耕作放棄地解消モデル事業、りんご経営安定対策事業費補助金

### 商工費 10名、27項目

空き店舗活用支援事業費補助金、ひろさき街中にぎわいりバイバルプラン実施支援事業費補助金、「犬と散歩ができる公園」社会実験

### 土木費 8名、21項目

景観重要建造物改修等事業費補助金、水素製造・販売・供給体制整備検討調査事業

### 教育費 11名、19項目

弘前教育活性化プロジェクト、アップルマラソン大会運営事業費負担金

## 決算に対する討論

反対・賛成それぞれ立場の要旨を掲載します。

### ○反対の要旨 以下の理由から反対する。

- ・弘前ウォーターフロント開発株式会社への対応のまずさ
- ・再生支援の全容が見えないヒロロスクエア関連事業
- ・借金の増大につながる庁舎建設関連事業
- ・市民サービスの低下、市民の願いに十分応えていない
- ・高すぎる国民健康保険料、介護保険料

### ○賛成の要旨 以下の理由から賛成する。

- ・子育て、健康づくりなど市民生活に密着した施策展開
- ・街の顔・旧ジョッパル再生に係るヒロロスクエア整備
- ・台風18号や大雨、豪雪などの災害への迅速な対応
- ・財源確保の国等へ働きかけなど、財政の健全化に留意
- ・弘前市健康福祉改革プロジェクトによる施策の展開

## 請願 3件

- 「特定秘密の保護に関する法律」の施行延期と抜本的見直しを求める意見書提出に関する請願 ……採 択
- 子ども医療費の通院費無料化を求める請願 ……不採択
- 政府による緊急の過剰米処理を求める請願書 ……不採択

## 委員会活動報告

経済文教常任委員会、産業振興対策等調査特別委員会は、8ページに掲載しています。



保育研究会役員との懇談会

### 厚生常任委員会

#### 保育研究会役員との懇談会

- 10月17日(金) 弘前パークホテル
- ①子ども子育て支援新制度の概要と課題について
  - ②保育士確保の現状と今後について

### 議会制度等調査特別委員会

- 7月28日(月) 市役所
- 9月1日(月) 市役所
  - ①予算決算特別委員会の常任委員会化について
- 10月8日(水) 市役所
  - ①正副議長の立候補制について

## 一般質問

各質問者が執筆しました質問・答弁の要約を掲載いたします。  
※敬称略。( )は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



工藤 光志  
(憲政公明)

## 青年就農給付金について

**問** 青年就農給付金の給付状況と今年度からの給付要件の変更点について問う。

**答** 「経営開始型」は25年度は54名に給付し、今年度は90名への給付を見込み8月末までに55名から相談を受けている。今年度から給付要件に、認定新規就農者であること、親族からの農地継承者は新規参入者と同等の経営リスクを負っていること、農林水産省発行のメールマガジ

ンに登録することの3項目が追加された一方、農地の所有要件が緩和された。

## 弘前市におけるたばこ対策について

**問** 様々な意見が寄せられているたばこ対策について市の所見を問う。

**答** 本年7月「たばこの健康被害防止対策庁内検討会議」を開催し検討を開始した。今後、関係団体等も含めた懇談会を設置し、先進事例等も参考に、市民が暮らしやすいたばこ対策を目指していく。



谷川 政人  
(憲政公明)

## 吉野緑地周辺を中心とした今後のまちづくりについて

**問** 吉野町緑地周辺を有効に活用した魅力ある今後のまちづくりの見解を問う。

**答** 多くの視点から考えた一体的な新たなまちづくりをしていくことが重要であると考えており、ひろさき子ども夢プランの実現とともに、吉野町緑地を中心とした周辺の利活用方法について、市民の意見を聞きながら一緒に考えていきたい。

## 教育行政について

**問** 教育長就任3カ月を振り返った所見と今後の取り組みについて問う。

**答** 学校現場を大切にするとともに、これからの学校の在り方を見据え「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」の実現に向け、当市の教育行政に取り組んでまいりたい。また、学校と教育委員会との連携強化を図り学校を支援するために、パイプ役となる人材の配置を考えている。



石岡 千鶴子  
(弘前市民クラブ)

## ねぶた後継者育成について

**問** 伝統文化の後継者育成について。

**答** 子どもたちに運行だけではなく、制作にも関心を持ってもらい、また中堅世代の参加促進についても、ねぶた参加団体協議会などで協議していく。

## 博物館の資料収納について

**問** 資料等の収納場所と整理について。

**答** 大きな余裕はなく、収蔵庫増築も国指定史跡内に所在するため困難な状況。

適切な収蔵、管理、活用に取り組む。

## 「野菜工場」の構想について

**問** 市の資源を活用した誘致について。

**答** 野菜工場などは、天候に左右されず需要に応じた計画的な生産が通年で可能なことから企業の新規事業や雇用の受け皿として注目が集まっている。消費者のニーズに応える新しい農業の形が構築される可能性を秘めていると考える。今後も県や全国的な動向を注視していく。



佐藤 哲  
(自民の会)

## 県立高校将来構想検討会議について

**問** 県教育長の諮問機関として次期県立高等学校教育改革実施計画策定のために設置された検討会議に市はどのように対応するのか。

**答** 検討会議の審議内容の情報収集を徹底し、地区部会で市の意見や要望を的確に伝え、地域の意見が反映された高等学校教育改革となるよう強く訴えていく。  
岩木川市民ゴルフ場と弘前ウォーターフ

## ロント開発株式会社について

**問** 現状の説明と今後の展望について。

**答** 市と会社の関係者で経営検討協議会を設置し、解散の方向で意思形成が図られている。破産ではなく特別清算の方法を9月25日招集する臨時株主総会で決議する予定である。会社の解散と清算人を選任し、9月中にも特別清算手続き開始を申し立て、裁判所の関与の下で清算手続きが進められることになる。



尾崎 寿一  
(憲政公明)

## 弘前市運動公園について

**問** 運動公園の現状及び防災拠点化に向けた整備はどのように進めるのか。

**答** 運動公園は災害時の市民の避難場所に位置づけられているほか、原子力災害時には横浜町からの避難者を受け入れることになっている。防災拠点化基本構想策定後は、広域防災拠点としての機能強化のための施設整備のほか、隣接地域の道路等のインフラ整備もあわせて進める。

## 弘南鉄道大鰐線について

**問** 弘南鉄道大鰐線の利用促進へ向けた取り組みの成果はどうか。

**答** 弘南鉄道大鰐線は昨年度の利用客数は52万6千人と一昨年度から5万人減少した。春と秋のまつり期間中、利用者には公園への無料入場券を配付したところ春は利用者が1.7倍になったほか、子育て世代対象の「まちなかお出かけパス」の適用対象とするなど、対策を進めている。



加藤 とし子  
(弘前市民クラブ)

**認知症サポーター養成事業について**

**問** 事業状況と受講後のサポートを問う。

**答** 平成25年度はキャラバン・メイトを活用した講座を736名が受講した。26年度も事業の継続と、地域で見守り支援ができるようにモデル地区で「徘徊模擬訓練」の実施を予定している。

**1年契約の入札について**

**問** 警備や清掃業務の入札について問う。

**答** 落札金額が低下することにより、履

行品質の低下が懸念されるため、最低制限価格を設定している。また、契約期間は原則1年としているが、長期継続契約により3年まで可能となっているので受注者側の業界団体の意見も聞きながら複数年契約の導入を検討していきたい。

〈その他の質問項目〉

- お墓の無縁化 ○徘徊対策
- 教育行政（食物アレルギー対応食・食育を通じた学校教育・不審者対策）



石田 久  
(日本共産党)

**介護保険制度について**

**問** 通院介助等について問う。

**答** ケアプランに組み込んだ場合には、通院等乗降介助サービスではなく、身体介護サービスの院内介助として、介護報酬の算定が可能である。

**国民健康保険の広域化について**

**問** 広域化と市の国保の特徴について。

**答** 国は平成29年度を目途に国民健康保険の運営主体を市町村から都道府県に移

行する。市の国保の特徴は、加入者の平均所得が全国と比較して低い水準となっており、平成26年度当初は1世帯当たり約106万円、1人当たり約60万円である。また、高齢者や低所得者の加入者が多く、60歳以上が全体の約47%を占める。

〈その他の質問項目〉

- 市税、国保料などの滞納整理のための差し押さえについて
- 高齢者住宅等安心確保事業について



外崎 勝康  
(憲政公明)

**市道富田樹木線の交通安全対策について**

**問** 津軽橋と弘高下駅踏切の拡幅整備について問う。

**答** 本路線は幅16mの道路として都市計画決定されているため、部分的な先行整備が可能か関係部署と協議したい。

**高齢者の公共交通利便性について**

**問** 現状及び計画などについて問う。

**答** 持続可能な公共交通体系の戦略的な構築及び公共交通サービスの向上・改善

のため、地域のニーズに合わせた交通施策を行っていく。

**自主防災組織について**

**問** 今後の対応と目標について問う。

**答** 現在38団体、組織率11.7%である。地域の初動対応を確実にを行うためには自主防災組織を多く結成する必要がある。今後、8,000世帯をカバーすると想定し、現在の8,460世帯と合わせて、平成29年度までに組織率20%を目標とする。



伏見 秀人  
(無所属市民の会)

**桜を通じた国際交流について**

**問** 中国武漢市との交流について問う。

**答** 平成9年に東湖公園で桜の植樹に関する技術指導を行ったことに始まり、交流が行われてきた。交流は一旦途絶えたかたちとなったが、平成25年11月に武漢市で開催された「第2回武漢国際友好都市トップフォーラム」では、桜を通じた縁により招待を受け、副市長が出席した。武漢市との交流は実現性が高いと感

じており、当市のインバウンド戦略にとっても有効であると認識している。

**予定価格と消費税について**

**問** 物品購入における状況について問う。

**答** 予定価格は消費税込みの金額としている。消費税率引き上げに伴い、増税分を価格に転嫁できないことによる経営への影響も想定されることから、他自治体の動向等を調べて、見直しする点があるかどうか調査を行いたい。



今泉 昌一  
(無所属)

**全国学力テストの結果の活用について**

**問** 市全体の平均正答率はどうなっているのか？

**答** 市の平均正答率は公表しないこととしている。理由は、実施教科が国語、算数・数学の2教科で、一部の教科の一部範囲の結果であり、児童生徒の学力全体を見るものではないことと捉えているためである。

**国際観光への取り組みについて**

**問** インバウンド対策の効果を問う。

**答** 市では、東アジア圏域を重点エリアと位置づけ、「台湾人観光客宿泊促進委託業務」や「青森・ソウル線二次交通支援対策事業」など、複数のインバウンド対策事業を実施した。その結果、重点エリアからの外国人宿泊者数は、平成22年の1,473人から平成25年は2,897人と、ほぼ倍増した。



宮本 隆志  
(望雲会)

**岩木川改修事業について**

**問** 堤防整備により、河川敷地内に残されたりんご園等に対する国の方針は。

**答** 国として「河川用地とすべきものと考えているが、限られた予算の中で当面は、住宅地の被害を防止する築堤等を優先せざるを得ない」との所見である。

**教育都市宣言について**

**問** 学都弘前を誇りとし、子供達の教育の充実と健全育成を目的に宣言せよ。

**答** 教育委員会では、弘前市教育振興基本計画を策定し、教育や人材育成に取り組み、教育のさらなる発展を目指す。

**アパレル産業について**

**問** アパレル産業を次代を担う産業として積極的に強化する考えはあるか。

**答** アパレル産業を地域を牽引する産業とし、オリジナルブランドの構築や企画デザイン等の関連企業が集結する、アパレル、ファッションの街弘前を目指す。



小山内 司  
(憲政公明)

**自治基本条例について**

**問** 条例の名称と位置づけについて。

**答** この条例は日本国憲法や地方自治法などの大前提の基に成り立つもので、しかも、直接的に地方自治そのものを定める条例でなく、これからの協働によるまちづくりの理念、仕組みについて定めるものである。また、この条例は他の条例に対して効力的に優越させるものではなく、まちづくりの基本になるものと位置

づけ、法令等の趣旨を損なわない範囲で尊重するものである。

**問** この条例と弘前市経営計画の「まちづくり」の相関関係と連携について。

**答** この条例のまちづくりは、都市環境、生活基盤等の経営計画のまちづくりをはじめ、ひとづくり、くらしづくり、なりわいづくりも含めた幅広い分野としており、現状の内容で十分に連携は図られると考えている。



小西 勇一  
(日本共産党)

**世界遺産になった「和食」について**

**問** 和食文化を守るための施策を示せ。

**答** 市としては「弘前マイスター認定制度」により優れた調理師を認定するとともに、和食に関する技能披露会の開催を支援するなど、確かな技術の継承や普及に努めている。また、伝統料理の講習会や親子料理教室などの実施や支援、学校給食に和食を取り入れることなどにより、地域や家庭での定着も図っている。

今後も、和食の技術を伝承するための施策を進めるとともに、地元の新鮮で安全・安心な食材が消費者に提供されるよう、地産地消の促進に取り組む。

〈その他の質問項目〉

- 国際家族農業年を迎えての市の施策について
- 住宅リフォーム助成制度について
- 子どもの医療費について
- 公衆トイレ・公園のトイレについて



畑山 聡  
(望雲会)

**弘前ねぶたのあり方について**

**問** 伝統重視のねぶたとは別に、伝統の上に創意工夫を凝らした新しい弘前ねぶたも審査の対象にするべきでは。

**答** 主催4団体と参加団体との協議の中で、新たな工夫についても意見を伺う。

**学童保育について**

**問** 学童保育の拡大充実と児童の安全確保の観点から小学校校舎の空き教室の活用を積極的に推進していくべきでは。

**答** 政府の要請や、施設老朽化とファミリーマネジメントの観点から教育委員会と連携して学校の活用を検討する。

**市役所職員の定年後の処遇について**

**問** 再任用が部・課長でも主事扱いで、10万円余の給与では問題はないか。

**答** 国及び他自治体の動向も見ながら、再任用制度の適正な運用に努める。

〈その他の質問項目〉

- 習熟度別学習について

**平成26年第3回定例会日程 (29日間) ○傍聴者の数:延べ57人(本会議6日間)**

8月29日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	9月17日(水) 特別委員会	予算、決算審査
8月30日(土)～9月8日(月)	議案熟考	9月18日(木)～9月19日(金)	特別委員会 決算審査
9月1日(月) 特別委員会	議会制度等調査	9月22日(月) 特別委員会	決算審査、産業振興対策等調査
9月9日(火)～9月11日(木)			常任委員会 経済文教
9月12日(金) 本会議	一般質問、予算決算	9月23日(火)～9月25日(木)	議事整理
	特別委員会の設置、議案付託	9月26日(金) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
	産業振興対策等調査		
9月16日(火) 常任委員会	厚生、経済文教、建設、総務		

今年は延べ273人(本会議20日)が傍聴しています。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。







蒔 苗 博 英  
( 憲 政 公 明 )

**地域おこし協力隊について**

**問** 人口減少を食いとめるための政策「地域おこし協力隊」の取り組みを問う。  
**答** 市町村が意欲のある都市住民を「地域おこし協力隊員」として受け入れ、地域おこし活動支援や、農林業の応援、住民の生活応援など「地域協力活動」に従事してもらい、都市住民の定住、定着を図りながら、地域の活性化に貢献するものである。来年度から相馬地区へ受け入

れするために、今年度は検討会の開催など地域住民と共に準備を進めており、就農促進や定住、移住も期待できる。  
**農地中間管理機構について**  
**問** 農地貸し借りに係る農地中間管理機構について市としてのかかわりを問う。  
**答** 農地や耕作放棄地を担い手へ集積、集約するため同機構が制度化された。集積が加速するよう、市では専従職員を配置するなど実施体制の強化に努めている。



野 村 太 郎  
( 憲 政 公 明 )

**市役所庁舎増築棟について**

**問** 新築される市役所増築棟の防災拠点としての機能はどのようになっているか。  
**答** 防災拠点として各種機能を集約し、指揮・命令・情報伝達の即時対応が可能な整備を進める。また、緊急避難者の一時待機場所としても計画しており、食堂で炊き出しを提供、物資の備蓄スペースを設置する。建物は免震構造とし、自家発電設備や燃料電池型ガスコージェネ

レーションシステム、太陽光発電設備の導入を促進し、地震時の庁舎機能への影響を最小限に抑える。  
**自治基本条例素案について**  
**問** 条文中の弘前市協働によるまちづくり審議会とはどのような組織か。  
**答** 自治基本条例の実効性の確保のため、実際の運用状況を確認し、改善していくための審議会で、12人以内で構成し、基本的に毎年度1回諮問する予定である。



今 薫  
( 無 所 属 )

**市職員の時間外勤務状況と病気休暇について**

**問** 過去6年間の時間外勤務状況と病気休暇（心の病）の取得状況について。  
**答** 時間外勤務状況は5～6年前はおよそ10万時間前後であったが、その後10万～14万時間で推移。記録的豪雪や集中豪雨等の災害、経営計画の策定、骨格・肉付け予算編成等の影響もあり、24年度は約16万時間、25年度は約21万時間となっ

ている。心の病が原因である病気休暇取得状況は、21年度17件、22年度3件、23年度4件、24年度10件、25年度8件。  
**問** 要因と課題について。  
**答** 団塊世代の退職以降、世代交代が進んでいることや新たな事業へのチャレンジが要因と考える。時間外勤務の縮減を図るため、事務の棚卸点検を実施し改善に取り組んだ結果、24年度は148項目の改善と5,572時間の短縮効果を確認。

議長（田中 元）は採決に加わっていません。  
 ※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

小山内 司	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越藤 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	栗形 昭一	宮本 隆志	三上 惇	高谷 友視	下山 文雄	藤田 隆司	柳田 誠逸	藤田 昭	工藤 良憲	
○	●	○	○	●	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
○	○	●	●	○	○	退	-	○	●	●	●	○	○	-	○	●	●
●	○	●	●	○	●	●	-	●	●	●	●	●	●	-	○	●	●
●	○	●	●	○	●	●	-	●	●	●	●	●	●	-	○	●	●

**議会本会議を傍聴しませんか** 議会の本会議（開会日、一般質問、閉会日）は、傍聴できます（午前10時開会）。市役所本庁舎4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

**定例会の一般質問のラジオ放送** FMアップルウェーブ（周波数78.8メガヘルツ）で、一般質問当日の午後8時から放送予定です。

**平成26年第4回定例会日程（予定）**  
 (11月21日(金) 議会運営委員会 会期日程等の協議)  
 11月28日(金) 開会日（本会議）開会、会期の決定、提案理由の説明  
 12月19日(金) 閉会日（本会議）各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会  
 ※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

**平成26年第3回定例会審議結果**  
 ※議会での慎重審議により、承認、認定、可決となりました。  
**市長提出議案：33件**  
 予算関係：7件、決算関係：8件  
 条例関係：9件、その他：9件

# 議場外での 議会活動

市役所での会議だけが議会の活動ではありません。  
市の課題解決のための関係機関への要望活動、議案審査や事務に関する調査研究を目的とした行政視察、災害時には現状や今後の見通しを探るための現地調査など、さまざまな活動を行っています。

## 産業振興対策等調査特別委員会・要望活動

### 国土交通省・要望事項の概要

岩木川中流部の治水事業の整備促進について

1. 治水事業の促進について
2. 岩木川中流部無堤区間の堤防整備の早期完成について

### 資源エネルギー庁・要望事項の概要

小規模地熱開発への支援について

1. 固定価格買取制度の価格・期間の維持
2. 地熱資源開発調査事業助成金の継続
3. 地熱開発理解促進関連事業支援補助金の継続

- 8月22日 青森河川国道事務所（青森市）
- 8月25日 東北地方整備局（仙台市）
- 8月26日 国土交通省、資源エネルギー庁（東京都）
- 9月26日 本会議で中間報告

産業振興対策等調査特別委員会は、昨年引き続き要望活動を行いました。

岩木川中流部の治水事業の整備促進については、青森河川国道事務所、東北地方整備局での要望活動を行い、国土交通省では直接要望書を手渡しました。

小規模地熱開発への支援については、嶽地域における地熱発電の可能性についての調査が進められるなか、国に支援制度の継続を要望しました。



加藤国土交通省水管理・国土保全局次長に要望書を提出



岡本資源エネルギー庁燃料政策企画室長に要望書を提出



りんご被害状況の現地調査

**9月12日** 午後市南部に降ったひょうによりりんごなどの農作物に被害が発生したという情報を受け、議員有志が現地を調査しました。

## 降ひょうによるりんご被害への対応

経済文教常任委員会、産業振興対策等調査特別委員会

**9月22日** 2委員会合同でりんご園での現地調査を実施しました。市や農協の担当者から被害状況の説明を受け、意見交換・情報収集を行いました。被災した農家の負担や資金面での不安を軽減するような措置や、被害を受けた農産物の販売への支援等、**必要な支援策について討議検討を行いました。**

**9月26日** 議会としての対応を検討するように議長に申し入れるとともに、**経済文教常任委員長が本会議で現地調査や会議での討議検討の内容についての報告を行いました。**

**10月20日** 議長、経済文教常任委員長、産業振興対策等調査特別委員長が、**市として十分な支援に取り組むよう市長に要望書を提出しました。**

## 議員の行政視察（会派等一般行政視察）

### 望雲会・無所属市民の会

7月16日（水）～19日（土）

- ①佐賀県武雄市
  - 指定管理による図書館運営
  - タブレットを使った反転授業
- ②佐賀県伊万里市
  - 直営による図書館運営
- ③佐賀県唐津市
  - 唐津城の石垣再築整備事業

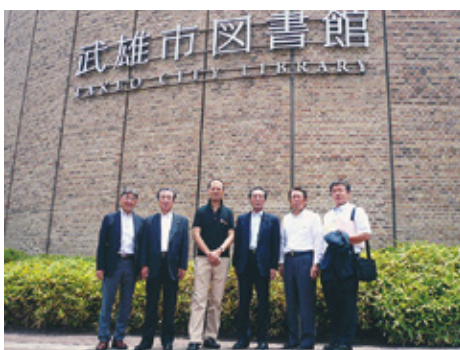
### 無所属議員（今泉昌一）

8月5日（火）～6日（水）

- ①東京都町田市
  - 国際版画美術館及び多摩ミュージアム・ネットワーク構想
- ②神奈川県海老名市
  - 市立図書館の指定管理

10月15日（水）～16日（木）

- ①石川県金沢市
  - 金沢海みらい図書館
- ②石川県白山市
  - 文化施設の指定管理（鶴来総合文化会館クレイン）



武雄市図書館にて樋渡啓祐市長（左から3人目）と



町田市立国際版画美術館にてタペストリー前で山本副館長（左）と

## 弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報は、こちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

検索

